



第31回「歯と口の健康まつり」図画・ポスターコンクール(三島市歯科医師会)
三島市議会議長賞 しらゆり幼稚園 年長組 中山紗椰香さん

CONTENTS

新しい体制が決まりました	2
6月定例会 議案審議の概要	4
一般質問	6
議会報告会・9月定例会の予定ほか	16

5 月
臨時会

三島市議会の

新しい体制が決まりました

第 71 代副議長
大房 正治第 68 代議長
鈴木 文子

5月16日の臨時会において、松田吉嗣議長、藤江康儀副議長が辞職したことに伴い、正副議長選挙が行われ、鈴木文子議員が第68代議長に、大房正治議員が第71代副議長に就任しました。

また、常任委員会委員の選任などのほか、3件の条例の一部改正について審議が行われました。

副委員長
藤江 康儀

〈委員〉 中村 仁
岡田美喜子
松田 吉嗣

委員長
大石一太郎

堀江 和雄
下山 一美

議会運営委員会

議会運営委員会は、円滑で効率的な議会運営をするために設けられ、会期や議案の取り扱いなどについて協議します。

各常任委員会の
調査事項

市議会では、行政のそれぞれの分野について専門的な調査や審査をするための常任委員会を設置しています。

各委員会では、その所管事項の中でも、特に下記の事項を調査します。

総務委員会

- (1) ファシリティマネジメントに関すること
- (2) 入札制度に関すること
- (3) 地域コミュニティに関すること
- (4) 災害対策事業に関すること
- (5) 動物愛護事業に関すること
- (6) ごみ減量化推進に関すること

福祉教育委員会

- (1) 健康づくりに関すること
- (2) 子育て支援に関すること
- (3) 障がい福祉に関すること
- (4) 高齢者福祉に関すること
- (5) 学校教育に関すること
- (6) 生涯学習に関すること
- (7) 文化財の保護に関すること
- (8) 国民健康保険の県単位化に関すること

経済建設委員会

- (1) 三島駅南口再開発事業に関すること
- (2) 文化振興によるまちづくりに関すること
- (3) 企業立地推進に関すること
- (4) 空き家対策に関すること
- (5) 楽寿園の保全活用に関すること

常任委員会の委員



委員
堀江 和雄
(公明党)



委員
松田 吉嗣
(緑水会)



委員
土屋 利絵
(無会派)



委員
弓場 重明
(清論会)



委員
岡田美喜子
(新未来 21)



委員
土屋 俊博
(改革みしま)

行政の総合的な企画・管理・広報や、財政・
税務などの事務について審査します。

総務委員会



副委員長
服部 正平
(日本共産党議員団)



委員長
野村 諒子
(清論会)



委員
下山 一美
(日本共産党議員団)



委員
鈴木 文子
(公明党)



委員
瀬川 元治
(緑水会)



委員
中村 仁
(清論会)



委員
川原 章寛
(新未来 21)

福祉や子育て、学校・幼稚園から生涯学習・
スポーツなどの教育に関する事務について審査
します。

福祉教育委員会



副委員長
伊丹 雅治
(改革みしま)



委員長
杉澤 正人
(清論会)



委員
藤江 康儀
(改革みしま)



委員
村田 耕一
(公明党)



委員
大房 正治
(緑水会)



委員
大石一太郎
(清論会)



委員
石渡 光一
(新未来 21)

農政・商工・観光・文化および土木・建設・
都市計画や上下水道などの事務について審査し
ます。

経済建設委員会



副委員長
佐藤 寛文
(清論会)



委員長
佐野 淳祥
(改革みしま)

※所属会派は7月1日現在

平成29年 6月定例会

6月13日～6月27日
会期:15日間

■今回の議案は…

市長提出議案 8件

この号では次の項目を Pick Up!

Pick up 1

〈議第 43 号〉
【平成 29 年度三島市一般会計補正
予算（第 1 号）】（賛成多数）
■補正予算額 2 億 8,058 万 5 千円

Pick up 2

〈議第 50 号〉
三島市農業委員会委員の任命について
(同意 全会一致)

すべての議案と結果などの
詳細は、三島市議会ホーム
ページをご覧ください。

三島市議会

検索



Pick up 1

一般会計予算を
増額補正

オリンピックに向けた まちづくりがスタート

東京オリンピック・パラリンピックに向け、新たに国の補助制度を活用し、立体自転車等駐車を整備するなど、まちづくりにかかる経費の増額補正を行いました。

三島駅南口西街区を、広域観光交流拠点とするため、美観形成に配慮した整備などを行います。



オリンピック対応まちづくり事業

事業総額 ▶▶▶▶ 3億1,898万5千円

歳出の内容	金額
三島駅南口立体自転車等駐車場整備事業	2 億 5,388 万 5 千円
スポーツによる地域活性化推進事業	910万円
歴史的風致活用国際観光支援事業	4,000万円
誘客環境整備事業	1,600万円

■主な質疑

質疑 三島駅南口に整備する、立体駐輪場の必要駐輪台数の推計およびその根拠は。また安全対策の内容は。

答弁 平成28年度中において、800台以上記録された日は年間17日、また、700台以上の日が82日であるため、必要台数は、最大値などから推計し、850台が適正と判断した。

新駐輪場は、オートゲートシステムを取り入れ、24時間の出入庫が可能となる。各階には、警備保障会社への緊急通報システムボタンの設置などを検討しており、防犯カメラも、死角のないよう配置していく。

質疑 誘客環境整備事業の一つ、散策路整備事業はどのような内容か。

答弁 誘客環境整備事業は、楽寿園を駅前と市街地との人の流れをつなぐ玄関口として、国内外の観光客を受け入れる環境整備をするもの。

散策路整備は、夜菊鑑賞などの夜間イベント時に開園する際、来園者が安全に散策できるように、景観に配慮しながら、誘導灯を敷設する事業と、一部進入禁止となっている森の中を、安全に散策できるように、枯損木などの不要木を除去し、散策路を整備していく事業である。

応援します！笑顔の子育て

県の新たな補助制度を活用し、少子化対策にかかる経費の補正を行いました。

10月に開催予定の「子育て支援フェア」の事業内容拡充や、安心して楽しく乳幼児を連れて外出できる環境づくりを進めるほか、市内の中学生の英語力向上のための補助を行います。

ふじのくに少子化突破戦略応援事業

事業総額 ▶▶▶▶ 614万円

歳出の内容	金額
子ども・子育て支援推進事業	400万円
街中で子育て応援事業費補助金	100万円
英語力強化のための英検補助事業	114万円



■ 主な質疑

質疑 英語力強化のための英検補助事業の補助対象と補助割合は。

答弁 学校を通じて英検3級の受験申込を行う中学3年生に対し、受験料の負担なくチャレンジしてもらうため、受験費用を市が負担するもの。英検3級の受験費用3800円の全額を、可否に関係なく1回のみ市が支援していく。

Pick up **2**
農業委員決定

農業委員14人の

任命に同意

農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員については公選制が廃止されるとともに、市長が議会の同意を得て任命することとなり、また、現行の委員の任期が平成29年7月19日をもって満了となることから、新たに14人の任命に同意しました。

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 山田 貴臣さん | 廣瀬 清彦さん | 高橋 徹司さん | 齊藤 修さん | 鈴木美津子さん | 小林 泰博さん | 市川 芳彦さん | 佐藤 操さん | 神山 衛憲さん | 高橋 博幸さん | 吉田 正治さん | 三浦 正康さん | 廣瀬 和正さん | 関 勝美さん |
|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|

Q 農業委員会制度は何か変わったの？

A 新しい農業委員には、認定農業者が委員の過半数を占めること、年齢、性別などに著しい偏りが生じないように配慮すること、農業者以外で中立な立場で判断することが出来る者を1名以上含めることが任命の要件とされました。

また、農業委員会の活動として、農地等の利用の最適化の推進が必須業務となり、担い手への農地等の利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を行う農地利用最適化推進委員が新設され、11人が選任されました。

この改正は平成28年4月1日から施行され、三島市では任期満了後の平成29年7月20日から移行となりました。



ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは…

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。

16人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

藤江 康儀 (改革みしま)

子育て支援の充実と学校環境整備

Q 保育士不足が各地で叫ばれているが、保育士を三島市の公務員として身分を保証し、確保するような取り組みはできないか伺う。

A 市の保育士を民間保育園へ派遣するには、ある程度派遣人員を確保する必要があり、人件費の増加が懸念される。しかし、保育士の確保は喫緊の課題であるので、効果的な対応策について今後も研究していく。



三島市の環境整備進行状況

Q 平成29年度の機構改革により、小坂副市長の管轄する、計画まちづくり部・都市基盤部・産業文化部の取り組みと成果について伺う。

A 三島駅南口再開発事業や企業誘致、移住定住対策などに取り組んでおり、特に企業誘致では、三ツ谷工業団地で新たに2区画を加え4区画が内定した。今後も関係者には丁寧かつスピード感を持って対応し、成果に結びつけたい。

野村 諒子 (清論会)

市営住宅の入居状況を改善する取り組み

Q 市営住宅入居者の高齢化や入居期間の長期化、また単身世帯の入居希望者が増えている現状に対し、今後の改善策を伺う。

A 収入超過者などへ明け渡しを誘導し適正な入居者管理をすること、また、部屋のタイプ別改修や住み替えの促進、老朽化住宅の建て替えなどにより、市営住宅での支援が必要な市民に適正なサービスが提供できるようにしていきたい。



南二日町住宅A棟のイメージ図

三島駅北口広場の混雑緩和への取り組み

Q 送迎車の混雑を緩和する取り組みは、三島市だけでは限界がある。近隣市町と三島駅北口周辺整備協議会などを立ち上げてはどうか。

A 広域的な観点から近隣市町との連携は必要であると考えている。将来的に三島駅北口へのアクセス道路として都市計画決定されている沼津三島線の事業化の折に、協議会などの立ち上げを視野に入れて対応していきたいと考えている。

他の質問事項

生きがい教室の自主運営の推進

下山 一美（日本共産党議員団）

国民健康保険広域化後の納付金

Q 平成30年4月から、市は県から示される納付金を納入することになるが、その額が示される時期と決定までの経過を伺う。

A 納付金額が示される時期は平成30年2月上旬になるため、平成29年10月に示される仮の基礎数値により推計される納付金を基に、保険税率などについて国保運営協議会への諮問、答申を経て、市議会2月定例会に上程する予定である。

**多大な被害をもたらす
受動喫煙の防止対策を**

Q 受動喫煙防止のために、禁煙・受動喫煙防止アクションプランを策定し、市独自の具体的計画を推進すべきではないか。

A 喫煙・受動喫煙対策は、スマートウエルネスみしまを推進する上で重要な課題であると認識している。現在、国において受動喫煙防止対策について議論がされているため、その動向を見ながら市でも研究を進めていく。



弓場 重明（清論会）

南田町広場の利活用

Q 南田町広場は、当市の中央に位置し利便性が最も高い。将来、富士山南東消防本部の移転も視野に、今後の利活用とその必要性を伺う。

A 幹線道路に隣接する利便性の高い場所であり、近い将来に富士山南東消防本部が移転する可能性は少ないと考える。また、南田町広場は現在、芝生広場などの行政財産として活用しているが、他の利活用について具体的な計画はない。

徳倉文教線と沢地大橋間の道路拡幅予定

Q 車両増大により徳倉文教線・沢地大橋間の道路幅員が狭く危険である。沢地本線の完成予定年度と同規模の拡幅の可能性を伺う。

A 現在施工している沢地本線改良事業は、平成30年度末の完成を目指している。沢地本線に続く徳倉文教線の拡幅は、住宅や高低差のある斜面が道路沿いにあるなど難しい課題もあるが、部分的改良も含め、調査・研究していく。



他の質問事項

三島市内の案内板の整備

杉澤 正人（清論会）

三島市小中学校教諭の勤務実態

Q 市は、教員の過重な勤務実態の改善に対してどのように取り組んでいるのかを伺う。

A 部活動の外部指導者の配置や全小中学校への電子黒板の導入、パソコン・イントラネットの整備、校務支援ソフトの導入、学校支援員の拡充、学校における会計業務の改善など、教員の負担軽減に取り組んでいる。



三島市の公園事業の課題

Q 三島市内の都市公園について、今後に向けての整備活用上の課題は何かを伺う。

A 公園開設後30年以上を経過している都市公園施設が、今後一斉に更新や改修時期を迎えることが予測されるため、公園施設の機能保全とライフサイクルコスト縮減を図るための公園施設長寿命化計画の策定が必要である。

伊丹 雅治（改革みしま）

歴史と文化のまちづくり

Q まちづくりにおいて重要な、しゃぎりや農兵節といった伝統芸能の担い手育成と、後世への継承について見解を伺う。

A 学校や地域の行事の中でしゃぎりや農兵節に親しみ、担い手となる子どもたちもいると考える。また、学校においては、今後も郷土の学習や出前講座を通して伝統芸能に触れることにより、郷土を愛する心を育んでいく。



農のあるまちづくり

Q 規模拡大をする農業者や新規就農者にとっては農地が不足しているという実態を踏まえ、農地情報を収集し可視化ができないか伺う。

A 農家が所有する農地の利用について、今後の見通しを調査しており、その情報を全国農業会議所が運営するインターネットサイトである全国農地ナビに反映できるように、静岡県農業会議所と準備を進めているところである。

他の質問事項

三嶋大祭りの方向性

佐野 淳祥（改革みしま）

省令改正による部活動外部指導員の役割

Q 4月から省令が改正され、部活動における外部指導員が、顧問の代わりに指導・引率ができるようになったが、本市への影響はあるか。

A 部活動指導の質的な向上や教職員の多忙化解消の点からみても、たいへん有意義な制度である。具体的な運用については、県の動向を注視し、制度の導入を検討していくが、教職員の負担軽減に良い影響を及ぼすものと考えている。



ドローンの使用を含む災害協定の訓練

Q 被害想定に基づいて、ドローンを含め協定業者との稼働をシミュレートする総合防災訓練が必要と思うが、三島市の見解を伺う。

A 今年の総合防災訓練でドローンによる情報収集訓練を検討している。すでに一部の協定業者は参加しているが、その他の協定業者は訓練のスケジュール上参加が難しいため、複数の協定業者による分野ごとの訓練実施の拡充に努める。

他の質問事項

移住定住する新卒のサポート策ができないか

中村 仁（清論会）

財政面からの公共施設の床面積削減の必要性

Q 公共施設を将来的に維持するには床面積の29%削減が不可欠だが、全体、学校施設の削減目標値と計画案との乖離に対する見解を伺う。

A 現在、策定中の計画案の削減率は、全体でおよそ15%程度であり、目標の29%に届いていない。小・中学校の削減率は、およそ小学校で21%、中学校で24%と見込んでいる。今後は、計画案に市民意見を反映させる中で検討していく。



三島市と地域ブランド推進協議会の事業・補助金

Q 農商工連携・6次産業創出事業費補助金から200万円の交付が決定した1か月後に計画変更されたが、2月議会答弁との矛盾点を伺う。

A 甘藷の加工品の開発事業などからAMORE MI SHIMA事業などへの計画変更がされていたが、2月議会では事業内容を取り違えたことから、当初の申請内容を答えたものであり、ここで訂正するものである。

他の質問事項

富士山南東消防組合における三島市の負担

佐藤 寛文（清論会）

市長の公務と政治活動の違いに関する認識

Q 市長の母校のPTA懇親会は公務ではないが、三島から伊豆長岡まで公用車で行き、秘書課の職員を随行させたことについて伺う。

A 市長公用車の使用は公務を確実にを行うため、迅速で効率的かつ正確な移動や市長の安全確保なども考慮し用務ごとに適否を判断しており、前後の公務への円滑な移動に必要と判断できる場合に限り公務以外の移手段とすることがある。

三島市地域ブランド推進協議会

Q 平成29年度の財源、予算、事業内容について伺う。

A 財源は、市からの負担金900万円、三島商工会議所、JA三島函南からの負担金が各5万円。支出はロッケ全国大会の費用として600万円を見込んでいますが、その他の事業については地域ブランド推進協議会で議論される予定である。



岡田 美喜子（新未来21）

都道府県単位化で国保制度はどう変わるか

Q 国保の財政主体が市から県に変わり、国は一般会計からの赤字補填繰入は解消すべきものとしていく。三島市はどう解消するのか。

A 効果的な保健事業の実施や医療費の適正化に努めるとともに、保険者努力支援制度や調整交付金などさまざまな財政支援制度を活用して歳入を確保し、赤字補填繰入の解消を目指していきたい。

情報モラル教育・ICT利活用の推進

Q スマホや携帯電話などの子どもたちの所有率が増加し、ネットトラブル対策や情報モラル教育の重要性を感じるが、取り組みを伺う。

A 小中学校の道徳や学級活動の授業、また中学校では技術・家庭科の授業などで情報モラルについて学習している。スマートフォンを使い方や危険性などについては、情報政策課と連携し、小中学校の出前授業として実施している。



村田 耕一（公明党）

空き家対策計画に基づく市の取り組み内容

Q 空き家対策計画に基づく管理不十分な空き家への対応策の内容と庁内検討会、勧告以降の措置を諮る対策協議会の設置時期を伺う。

A 管理不十分な空き家などへは適正管理を促す通知をしている。また、庁内検討会の設置に向けた準備をしている。なお、対策協議会の設置については、今後の空き家などの状況を見極めながら検討をする。

小中学校全校に防犯カメラと告知板の設置

告知板の設置

Q 防犯カメラ未設置の小中学校への早期設置と、防犯カメラ録画中の告知板を正門付近に設置すべきではないか。

A 防犯カメラの設置は、各小中学校のトイレの改修工事など緊急性のある工事と並行しながら、年に2、3校ずつ設置していく。また、防犯カメラ録画中の告知板は犯罪の抑止に効果的であるため、今後は正門付近に設置する。



他の質問事項

幼稚園園務改善のためICT化を推進すべき

土屋 利絵（無党派）

箱根の山を守りながら 公共施設の建て替えを

Q 箱根の木や県産材を使用して、三島市の公共施設、学校や市役所、三島駅南口再開発の建物を建て替えていく方向性について伺う。

A 三島市公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針に基づき、公共施設についてはできるだけ県産材を利用していく。また、三島駅南口東街区再開発事業については、可能な範囲で県産材の利用をお願いしていく。

自転車を利用しやすい街づくりとは

Q 三島駅南口に立体駐輪場の建設が決まった。これから70年先を考えた街づくりとなるわけだが、市民を含む協議会で話し合ったのか。

A 三島市自転車等の放置の防止に関する条例に基づく協議会は、放置自転車防止のための禁止区域を指定するなどの状況を想定して設置されており、今回は駐輪場を立体に整備する案件のため、必要のないものと判断した。

※所属党派は7月1日現在



堀江 和雄（公明党）

市税収納の現状と滞納整理の対応

Q 納税緩和制度が一部改正され、申請による換価の猶予制度などが施行された。三島市の税賦課徴収条例はどう改正されたのか。

A 早期かつ的確な納税の履行を確保し、負担軽減措置の一環として、徴収猶予に係る徴収金の分割納付または分割納入の方法、徴収猶予の申請手続き、職権による換価の猶予の手続きや、申請による換価の猶予の申請手続などを定めた。

Q 申請による換価の猶予制度の周知と広報について伺う。

A 三島市ホームページについては他市の事例を参考に直し、広報みしまへの掲載や、生活支援センターなど関係機関への周知を含め、さらなる広報に努める。また、納税相談の際に、該当になりうる案件に関しては積極的に案内を行う。



大石 一太郎（清論会）

再開発は将来都市像、 市民の夢の実現の場

Q 三島駅南口東街区の公募は、定期借地方式にこだわらず、民間のノウハウを生かした事業手法・事業提案を受けるべきではないか。

A 事業協力者公募の基本的な考え方は、従前と異なり、現時点では定期借地事業と市街地再開発事業の並立方式を必須の条件とせず、民間の知恵を十分生かした、事業成立性の高い優れたフリープランを求めることを検討している。



人権擁護と成年後見制度への取り組み

Q 認知症、知的・精神障がいを持つ方の就労支援・地域連携構築を踏まえた、成年後見支援センターの開設は可能か。

A 弁護士会、社会福祉士会、医師会などの関係団体と連携し、協力をいただきながら、支援の必要な方に必要な支援が速やかに提供できるよう、体制づくりに努めていく。

他の質問事項

空き家対策や中古住宅の流通促進

服部 正平（日本共産党議員団）

豊かな育ちを実現する
自主的な学校教育を

Q 新学習指導要領の改訂に伴い、中学校保健体育に銃剣道が加えられたが、導入の有無を伺う。

A 現在、三島市の中学校では、学校の実態に応じて柔道や剣道を武道の種目として選択している。教材や教具、生徒の実態などを踏まえると、今後、銃剣道を武道の授業に導入する予定はない。



生活道路の安全対策

Q 大場川国道1号以南の土手沿いからの車両転落事故が複数回発生している。転落防止策の必要性について伺う。

A 当該箇所は一級河川大場川の河川区域にあり、静岡県から占用の許可を受けた三島市道である。転落事故が過去に発生しているため、静岡県や公安委員会と協議し、効果的な事故防止対策を進めていきたい。

石渡 光一（新未来21）

三島市のスポーツの未来

Q 平成23年に全部改正されたスポーツ基本法により第2次基本計画が示された。部活動外部指導者の専門資格取得補助制度の導入を提案する。

A 学校教育法施行規則が平成29年4月に一部改正され、部活動指導員が制度化された。今後、県から具体的な運用に係る通知が届く予定のため、その内容をまずは精査し、制度導入の検討を行う中で、指導者資格取得を前向きに研究していく。



Q 2020東京五輪パラリンピックの施策における障がい者の方々のおもてなしとして、楽寿園内に車椅子ロードを設置してはどうか。

A お客様の声を踏まえ、車椅子などが通行しやすいよう園路整備を進めていくとともに、森の保全計画策定の中で車椅子で回遊できるルートを検討し、ゴムマットを敷くなど、車椅子利用者の利便性を高めていく。

議会の活動

4月

- 4日 各派代表者会議
公共施設等マネジメント検討特別委員会
- 6日 春の全国交通安全運動一斉街頭広報
- 20日 東海市議会議長会定期総会
- 27日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 28日 公共施設等マネジメント検討特別委員会

5月

- 9日 各派代表者会議
議会運営委員会
議案説明会

議員説明会

- 16日 5月臨時会
- 18日 経済建設委員会
(所管事項説明)
- 19日 福祉教育委員会
(所管事項説明)
- 22日 総務委員会(所管事項説明)
- 24日 全国市議会議長会定期総会
- 27日 統一美化キャンペーン
- 29日 公共施設等マネジメント検討特別委員会

6月

- 1日 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会・政策研修会
- 6日 各派代表者会議

議会運営委員会
議案説明会
議員説明会
議会だより編集委員会

13日～27日 6月定例会

- 13日 各派代表者会議
本会議(議案審議)
- 20日～23日 本会議(一般質問)
- 20日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 21日 各派代表者会議
議会運営委員会
本会議(議案審議)
- 27日 本会議(議案審議)
議会報告会運営会議
- 30日 公共施設等マネジメント検討特別委員会



「議会報告会」は、みなさんのご意見を直接お聴きする大切な機会です。議会からは市議会9月定例会の審議内容や結果の報告のほか、テーマを設け意見交換会も行う予定です。みなさんのご参加をお待ちしています。

議会報告会を開催します

11月2日(木)・11月3日(金・祝)

詳細については、市議会ホームページや広報みしま10/15号に掲載しますので、ご覧ください。



スマホでも！
タブレットでも！

市議会ホームページをご覧ください



市議会ホームページには、議員の紹介や会議の予定・結果など、情報が満載です。

また、「議会映像」をクリックすると、市議会の本会議を見ることができます。

「ライブ中継」は本会議の開催日にリアルタイムで、「録画映像」は24時間いつでも見ることができます。(「録画映像」の公開は本会議の約1週間後からです。)

「議会の傍聴になかなか行けない」という方も、スマートフォンやタブレットなどお手持の端末でぜひご覧ください。



9月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5	6	7	8	9
		本会議 (議案審議)		常任委員会 (決算審査)		
10	11	12	13	14	15	16
		常任委員会 (決算審査)				
17	18	19	20	21	22	23
			本会議 (一般質問)			
24	25	26	27	28	29	30
		本会議 (議案審議)				

本会議は午後1時、常任委員会は午前10時からの開会予定です。日程は変更になる場合があります。

メンバー
構成が変わり
ました

議会だより編集委員会

- 委員長 伊丹 雅治 副委員長 村田 耕一
- 委員 杉澤 正人 委員 瀬川 元治
- 委員 石渡 光一 委員 服部 正平

議場の見学に来てくれました

錦田保育園の園児27人が施設見学として議場にも来てくれました



イスに座って
楽しそう☆